

旧長谷川治郎兵衛家

●「長谷川家のわびさび」令和2年9月30日(水)～12月20日(日)

・「わびさび」は日本の美意識のひとつとして、茶の湯や俳諧で見受けられる言葉です。
文化活動の盛んな長谷川家にのこる品々を通じて「わびさび」の世界をご紹介します。

●「長谷川家の江戸店経営」令和2年12月23日(水)～
同3年3月14日(日)

・長谷川家の当主は松坂の本家に居住し、江戸店の経営一切は支配人に
任せていました。長谷川家に残る本家と江戸店とのやり取りした記録を通
して江戸店の経営や奉公人の生活をご紹介します。

○三重県松阪市魚町 1653 番地 / TEL 0598-21-8600



芭蕉翁像

旧小津清左衛門家

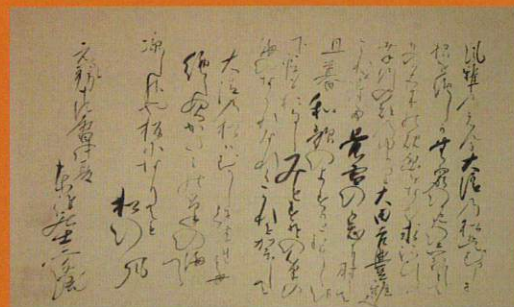
●「松阪商人の信仰」令和2年8月5日(水)～10月11日(日)

・松阪商人の当主は「家業の永続」のため、祖先や神仏を敬い、家内安全・商売繁盛を
熱心に祈願しました。大般若祈祷会の道具類、お蔭参りの資料など松阪商人の信仰を
ご紹介します。

●「商家のたのしみ」令和2年10月14日(水)～
同3年1月11日(祝日)

・江戸時代の豪商たちは、余暇に趣味と教養を兼ねた文芸を極め、
松阪特有の「商人文化」の担い手となりました。
資料を通じて、松阪商人の「たのしみ」をご紹介します。

○三重県松阪市本町 2195 番地 / TEL 0598-21-4331



大淀三千風筆「大淀の松讃歌」

原田二郎旧宅

●「原田二郎と土居光華」令和2年8月19日(水)～12月6日(日)

・同心町(現・殿町)は、江戸時代には同心クラスの武士の居住地でした。同心町に住み、
近代の松阪を代表する経済人・原田二郎(1849-1930)と政治家・土居光華(1847-1918)をご紹介します。



御城番屋敷

●「御城番屋敷と苗秀社」令和2年12月9日(水)～
同3年4月18日(日)

・江戸末期に紀州藩士が松坂城警護のため移り住んだ
「御城番屋敷」と明治維新後に御城番武士が設立した
合資会社「苗秀社」をご紹介します。

○三重県松阪市殿町 1290 番地 / TEL 0598-23-1656